

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

あさやけだより
No. 476

発行: 社会福祉法人ときわ会

〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地

URL <http://www.asayake.or.jp>

ココロがしんどくなる前に

だれでも
だれかの
サポーター

小平市精神障がい者理解促進研究・啓発事業

主催: 小平市 企画運営: 社会福祉法人ときわ会 企画協力: NPO法人ふるすあるはとチームこたしらん



2019年

12月18日(水)

|

12月22日(日)

ふるすあるは
「手アキ」絵画展
12月18日(水)~12月22日(日)
10:00~18:00

ふるすあるは絵本朗読会
12月21日(土)
①11:00 ②16:30
(各回約30分)
定員40名・先着順

ふるすあるは
ギャラリートーク
12月22日(日)
13:30~15:00
定員40名・先着順
(託児あり・託児は要事前申込)

【会場】
小平市民文化会館
ルネこだいら 展示室

【サテライト会場】
CAZE CAFÉ なかまち

入場無料

イベント情報
デジタル版はこちら



ふるすあるは

こたしらん

沈まないように、ココロがしんどくなりすぎる前に、ちょっとずつ応援する
大きなひとつのカケラはこわれやすいけど、たくさんの小さなカケラは簡単にはこわれぬ
だれかを想う、たくさんの小さなカケラの集まりで、ふんわりと応援する
だれでもだれかのサポーター

先日、東京新聞に「訪問カレッジ@希林館」の取り組みが紹介されました。「訪問カレッジ」は特別支援学校などを卒業後、重い障がいや病気のために通所施設等を毎日利用する事が難しい十八歳以上の方を対象とした生涯学習の場です。学習支援員（元教員）が自宅を訪問し、本人の希望に沿った個別カリキュラム（体操、音楽、読み聞かせ、美術、創作、英語など）を作り指導しています。（現在は学生十九人、学習支援員は十八名。）昭和五四年に障害児の教育が義務化され、全ての障害児に学校教育が保障されるようになり、さらに重度の障害児も平成元年の頃から医療的ケアへの対応が整備され、保護者付き添いを条件に通学籍で学ぶことが可能になりました。また、今年度からは看護師等が同乗した専用車両での通学も始まりました。しかし、人工呼吸器など高度な医療的ケアが必要な場合、卒業後は在宅生活になるという課題があります。こうした状況を踏まえ、元養護学校（当時）校長と教員が中心になり、二〇〇七年八月（平成十九年）にNPO法人「地域ケアさぼー」と研究所を立ち上げ、二〇一二年に小平市に事務所を構え現在に至ります。

研究所の事業は以下の三つです。①重症心身障害児・者への支援事業（訪問・福祉サービス「訪問カレッジ@希林館」）、②重症心身障害児・者に質の高いサービスを提供する支援者の育成事業（調理講座、講師派遣など）、③重症心身障害児・者の支援に関わる人材の開発事業（重症児・者のたんの吸引等医療的ケア支援者養成事業（特定の者対象））。

重度の在宅障害者が、生涯学習として学べる訪問事業は現在の制度にはありません。昨年十二月、同様の取り組みをしている団体で「重度障害者・生涯学習ネットワーク」を発足させ、訪問事業の制度化に向けて活動を始めています。

十一月十日（日）午後一時三〇分より十一月十日（日）午後二時三〇分まで「第六回文化フェスタ」を開催します。内容は学生の活動紹介と音楽（バンド演奏・歌）です。お時間のある方、覗いていただければ嬉しく思います。

※「地域ケアさぼー」と研究所はインターネットで検索できます。

重度障害者の生涯学習の場「訪問カレッジ@希林館」

NPO法人地域ケアさぼーと研究所
理事 六戸 芳子

「小平特別支援学校（音楽室）」をお借りして「第六回文化フェスタ（文化祭）」を開催します。内容は学生の活動紹介と音楽（バンド演奏・歌）です。お時間のある方、覗いていただければ嬉しく思います。

※「地域ケアさぼー」と研究所はインターネットで検索できます。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



五十五歳。これからも頑張ります。

若本 忠洋さん
(あさやけ作業所)



「若本さん」と声が掛かると、声の主が目線をむけてサッと手をあげて返事をする若本さん。あさやけ作業所の仲間入りをしたのは今から三十七年前、一九八二年四月のことです。洗濯バサミや廃品回収など様々な作業を経験してきました。長年仕事に取組んできた大ベテランの若本さん、「仕事」が身体に染み込んでいくように、昼休みにも作業の部材を手にしてしまいます。作業室から出てしまえば、声が掛かると作業のケースを取りに戻ってきます。

二十代・三十代の若い職員に、人生の先輩でもある若本さんの印象を尋ねてみました。

まずあがったのは「食べるのが大好き」。作業所での昼食は残すことなく、いつもきれいに食べ終えます。ポーンと外に出た後、アイスクリームなどをとって美味しく口にします。

次にあがったのが「ヒーローが大好き」とくにウルトラマン・シリーズがお気に入り。毎週水曜

日のクラブ活動はカラオケクラブに参加して、十八番の「ウルトラマン」の主題歌を、慣れた手つきでマイクを握って熱唱しています。

三番目は「動物が好き」。パングや子犬の写真をみる目は優しく、猫の鳴きまねをお願いされると「にゃあ」と可愛い声を出してくれます。窓の外にカラスを見つけたとき、近くにいた職員に「カラスーカラスー」と指を差して教えてくれました。

そして「いっぱい、おしゃべりをしてくれる」。こちらから話かけると、ちゃんと返事してくれます。首をちょこんと傾けて、大きな瞳を話し相手に向けて、うんうんと頷きながらおしゃべりを楽しむ様子が見られます。

若い頃は血気盛んで活発だった若本さんも、五十歳を過ぎて甘え上手な一面を見せてくれるようになり、昭和から平成、そして令和へと時が移り、若本さんも表情を変えてきました。これからどんな一面を見せてくれるのか楽しみです。



キラキラ人形劇団



仲間の店



プチ・マルカートの演奏



セモラ石鮎

**雨の降るなかたくさんの方に
ご来場いただき盛大に開催
～台風19号の影響で1日目のバザール中止～**

この度は足元の悪いなか KODAIRA わいわいバザールにご来場いただき、また開催にご協力いただきありがとうございました。台風の影響で1日だけの開催となり、開催を楽しみにして下さっていたみなさまにご心配とご不便をおかけしましたが、無事に開催することができました。

今年は雨にもかかわらず、来場者数、ボランティアさん、参加団体、主催を合わせ、のべ1,500人にもおよぶイベントとなりました。私たちはこのバザールの開催により、障がいのある人たちへの理解を進めながら、より身近なものとしてみなさんに感じていただけるように願っています。

最後に、当日の運営の不備にもかかわらず、開催にあたってご協力いただきましたボランティアのみなさま、東京都立小平特別支援学校ならびに各団体のみなさまに、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

第15回 KODAIRA わいわいバザール実行委員会
実行委員長 丸山 就平



コダレンジャー ヒーローショー



焼きそば

KODAIRA わいわいバザール あさやけ作業所の会計報告

2019年10月15日現在

収入の部		支出の部	
寄付金	81,650	宣伝費	167,592
衣類コーナー	650,663	備品費	138,017
くつ	93,400	ガソリン代	4,961
かばん	156,250	要員弁当代など	83,500
ベビーおもちゃ	69,570	企画公演	10,000
雑貨・古本	197,234	役務費	83,546
本部模擬店	142,015	雑費	494,900
出店料他	6,500	未払い金	0
収入合計	1,397,282	支出合計	982,516
差引収益		414,766	

※10月15日開催のバザールの収支です。父母会・なかまの店及び出店団体の売上げ等は含まれていません。



仲間の店



衣類売り場



古本

鷹の台の秋の製品紹介

あさやけ鷹の台作業所のメンバーが作っている秋・冬に大活躍のマフラーです。糸を染めるところから行っています。様々な植物で染まった糸を使用して、鷹の台作業所でしか作れないような商品です。



各 5000 円



5000 円

ウール 100%の柔らかいマフラーです。ひとつひとつ丁寧に織られた手織りのあたたかさが感じられ、他では見られないような鷹の台作業所ならではのよこ糸の色使いが特徴です。糸を染めるところから行っており、肌にやさしい植物染料で赤や黄色、青、グレーなどの自然で鮮やかな色に染めました。長さも、短いものから長いものまで、さまざまな種類を 3500 円～ 5000 円で取り揃えております。同じマフラーは一つもなく、すべて一点ものです。天然の優しさを、ぜひお手に取って感じてください。



シルクポードーストールに新色が出ました！

あかね、藍+やまもも、ログウッドで染めた、赤、緑、紫の3色です。

今までのシルクポードーストールとは違い、赤、緑、紫の色をはっきりと出しました。この季節にピッタリの色合いで、首元を華やかにしてみたいかがでしょうか。

■問い合わせ先
あさやけ鷹の台作業所 TEL: 042-346-2167

第15回KODAIRAわいわいバザール協力団体・協力者

(順不同および敬称は略させていただきました)

- 後援団体
小平市 小平市社会福祉協議会
- 協賛団体
小平肢体不自由児者父母の会 小平手をつなぐ親の会
- 会場
東京都立小平特別支援学校
- 参加団体
ゆうやけ子どもクラブ父母会 のぞみ作業所 小平手をつなぐ親の会 おだまき工房 久米川共同作業所 整育園通所部ういず 重症心身障害児者を守る会 あしたば作業所 小平第二みどり作業所 サポートクラブあすなろの家 生活リハビリセンター六三四 小平市役所資源循環課 (パネル展示) 875Beans (はなこビーンズ) ひまわりばたけ 澄水園 える・ぼいん 西都保健生協
あさやけ風の作業所 あさやけ作業所 あさやけ第二作業所 あさやけ作業所父母会 地域生活支援センターあさやけ あさやけ風の作業所父母会 あさやけ鷹の台作業所 サングリーン 共同ホーム一歩父母会 CAZE CAFÉ 本部風キッチン
- おまつり広場、イベント関係
キラキラ人形劇団 (リズム工房) プチ・マルカート ダンスクラブハピネス コダレンジャー こげら合唱団 あさやけ鷹の台作業所メンバー
- 備品関係
村田建設 小平福祉園 あかつき 多摩液化ガス 小平市資源循環課 のぞみ作業所 小平市文化スポーツ課 小平市立たいよう福祉センター (有)内山自動車工業 小平市中央公民館 小平社会福祉協議会 小平元気村 さやま園 サントリー<天然水のビール工場>東京・武蔵野ブルワリー
- ボランティア関係
小平・東村山・東大和共済会社会貢献活動部 社協こいだらボランティアセンター NPO法人小平ハートピア 東都生活協同組合 社協東村山ボランティアセンター NPO法人小平市民活動ネットワーク
- 駐車場・車両の借用
前原紙業 のぞみ作業所 集いの家 ほのぼの館 小平市立たいよう福祉センター 職業能力開発総合大学校 小平市立小川西保育園 緑成会病院
- ご協賛・ご寄付
アート引越センター東大和店 アート引越センター多摩支店 山崎製パン (株)武蔵野工場 (有)内山自動車工業 アート引越センター西東京店 第一屋製パン (株)小平工場 (有)野村屋 伊藤芳徳 小島時子 山口ミサオ 亀山美津子 安達幸子 坂井靖枝 内山隆 高野智子 尾崎正子 宮崎チヨエ 小林正雄 若本純子

※その他ポスター掲示、当日のお手伝いなど多数の方々のご協力をいただきました。

ありがとうございました。

かそくや友人、身近な人が、こころの病気になるなら
ご近所さんや、子どもの同級生の保護者、地域サークルの仲間だったら
自分自身の不調のこと... 病気がわからないけどなんだか心配なとき
まわりの人にできること? どこに相談したら?

ココロが
しんどく
なる前に
だれでも
だれかの
サポーター

2019年小平市精神障がい者理解促進研修・啓発事業として、精神障がいのある方とご家族を地域で応援することをテーマに、総展覧と関連イベントを行います。
色づかいと表情が印象的な絵の作者は『チアキ』、精神科の看護師でもあります。現在は「NPO法人ぶるすあるは」の制作担当として、絵本やウェブサイトを通して、精神障がいを抱えた方、家族、特にその子どもたちを応援する活動を行っています。
本事業は、絵、絵本ほか、さまざまなアイテムを通して、ココロのテーマを身近に感じていただく企画です。相談先やサポートのヒントなどの役立つ情報もまとめて展示します。
ひとりでも多くの方にお越しいただき、だれにとっても優しい地域、社会をめざして、いっしょに取り組んでいけたらと思います。

【イベント】
いずれも入場無料です

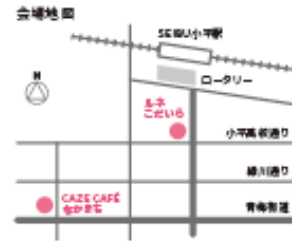
ぶるすあるは「チアキ」総展覧
12月18日(水)~12月22日(日)
10:00~18:00

ぶるすあるは絵本朗読会
12月21日(土)
①11:00 ②16:30 (各回約30分)
定員40名・先着順

ぶるすあるはギャラリートーク
12月22日(日) 13:30~15:00
定員40名・先着順
(既見あり・既見は要事前申込)

創作コーナー
ゆりえや工作を子どもも大人も自由に楽しもう
コーナー (会期中随時)

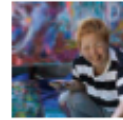
情報コーナー/図書コーナー
小平市の障がい者支援、精神保健や子育て支援に関する書籍、「精神障がいをかかえた親と家族・子ども」の応援についての本や情報、精神障がいについてイラストで学べる情報、セルフケアやコミュニケーションツールなどを設置します。
※ぶるすあるはの絵本やアイテムの販売も行います(書籍はぶるすあるはの紹介を参照ください)



【作家紹介】

チアキ (細尾ちあき)

兵庫県生まれ。看護師、養育士と精神科医療界に勤めた方。2008年からさいたま市の精神保健福祉センターに勤務。2012年、同僚だった医師と共同で絵本制作ユニット「プルスアルハ(ぶるすあるは)」として活動開始。絵本の執筆と絵、ぶるすあるはの全てのイラストを担当しています。絵のなかで神にこだわっているのは色づかいと表情。今回の展覧でも、たくさんの子どもの笑顔が描かれます。



NPO法人ぶるすあるは

さいたま市を拠点に、絵本や情報サイト『子ども情報ステーション』(http://kidsinfo.npa.go.jp)を通して、精神障がいやこころの不調をかかえた親、家族、その子どもたちを応援する活動を行っています。

日本児童書協会精神医学分会 2014年度賞状授賞者 / 第2回精神障害者自立支援活動賞 支援者部門 / PIFアソシエイト・ラン2017賞状長賞受賞者

著書

- 『生きる意味地図』学研社 2019
- 『家族のこころの病気を子どもに伝える絵本シリーズ (うつ病、統合失調症、アルコール依存症編)』ゆまに書房
- 『子どもの気持ちを知る絵本シリーズ (不登校、家庭内不和、発達障害・感覚過敏編)』ゆまに書房



『生きる意味地図』学研社 2019



『生きる意味地図』学研社 2019



『生きる意味地図』学研社 2019

【お問い合わせ・既見お申込】
社会福祉法人ときわ会 あさやけ第二作業所
小平市小川町2-1159
TEL. 042-345-1564 FAX. 042-347-3315
Mail. kokoro_kodaira@asayake.or.jp

こころの病気に
ついての
無料相談
12/22(日) 10-12時 展示室 案内コーナー
小平市障がい者支援課の保健師が相談員にいます。
お困りごとをお聞かせして、相談先についてご案内します。

2019年
12月18日(水)
|
12月22日(日)

【会場】
小平市民文化会館
ルネこだい6 展示室
東京都小平市美園町
1丁目8番5号
西武新線小平駅南口下車
徒歩3分



【サテライト会場】
CAZE CAFE なかまち
東京都小平市仲町145
なかまちテラス内



【小平市の情報先】
・こころの病気に
関すること
・障害福祉サービス
・生活のこと など

小平市障がい者支援課
042-346-0642
平日 8:30~17:00

多摩小平保健所
042-450-3111
平日 9:00~17:00

地域生活支援センターあさやけ
042-345-1741
平日 10:00~18:00

どこに電話しても大丈夫です。
ご家族からの相談も
お受けしています。
相談は無料です。
(通話料はかかります)
相談の秘密は守ります。



廃品回収のお知らせ

9月の廃品回収の回収量は16,660kgでした。内訳は新聞12,020kg、雑誌・ダンボール4,640kgです。収益は217,730円でした。

次回は11月16日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。